

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.28
東海村立白方
小学校
2025.11.14
児童数452人

日増しに冷え込みが増してきています。空気の湿度も低下してきていますので、小まめに教室の換気をしながら、加湿器を活用して室内の乾燥を防ぎ、感染症予防に努めております。疲れていて、免疫力などが下がっているような時には、外出の際にマスクの着用をするなど病気の予防についてご理解ご協力をお願いできればと存じております。

暗くなる時間が1年で最も早い季節です。放課後外出した際には、明るいうちにご自宅に戻るよう、お子様と約束をしていただき、交通事故、不審者による事件などに巻き込まれないようご理解ご協力をお願いいたします。

歴史と未来の交流館での学習

～ 村の歴史や大昔の大地でき方について、村に学びました。 ～

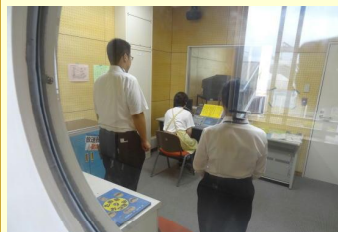
10月29日（水）に6年生が歴史と未来の交流館に行って村の歴史、土地のつくりの様子などを学びました。この日は過日学校へお越しいただいた学芸員の皆さん、理科専門員の先生、社会教育主事の先生方から、村の歴史の様子を展示品の解説を交えながら、教えていただきました。埴輪はどのようにしてなぜ作られたのか、村の大地は大昔にどのようにしてできたのか、遺跡から海岸近くに塩を作っていた村があったが砂に埋もれてしまったことなど、多くのことを遺跡や崖の土の中から出土した実物の品をもとに説明していただきました。社会科の歴史学習で学んだ各時代に、東海村でも埴輪や土器が作られたり、大きな村がつくられたりして文化が発展してきた様子を知ることができました。



教育実習生について

～ かけがえのない時を過ごしました。 ～

10月6日から3週間に渡り、白方小で3名の方が教育実習を行いました。教育実習は教員免許を取得する際に行う必要があり毎年お越しになる方がいます。大学附属の小・中学校がある場合は、その大学の教育学部の方は附属小・中学校で実習を行います。教育学部以外の方、大学に附属の小・中学校がない大学の場合は、ご自身の地元の小・中学校で教育実習を希望して実施します。実習中に助言や支援をする担当の先生の学級に入り、授業をはじめ、給食指導、休み時間の看護、朝の会や帰りの会での児童支援など、学習や生活の全ての場で児童と共に活動することで、教員としての資質能力の向上を図ります。授業ばかりではなく、休み時間や給食を共にすることで、児童も実習生もかけがえのない時を過ごします。教育実習によって、教員になると決意される方が多くおられます。



持久走試走

～ 苦しくても最後まで走りきります。 ～

11月6日（木）・7日（金）で1年生～6年生が持久走大会の試走を行いました。運動場の外に出て道路を走る練習です。1、2年生は外周りをコミセン前まで1周、3、4年生はいにしえガーデンの外側まで一周、そして5、6年生は1周目はいにしえガーデン外周りを、2周目はコミセン前まで走りそこから運動場を1周してゴールを目指します。道路を走る時は解放感がありますが、声援が遠くなるため自分自身の苦しくても走ろうとする気持ちが、必要になります。試走と同じように、本番でも自分の目標タイムへ向けて力の限り走りぬいてほしいと思います。（本番の様子は次回掲載します。）

